

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2010-57753

(P2010-57753A)

(43) 公開日 平成22年3月18日(2010.3.18)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
A 4 7 K 1/00 (2006.01)	A 4 7 K 1/00 V	2 D 0 6 0
A 4 7 K 1/02 (2006.01)	A 4 7 K 1/02 D	
E 0 3 C 1/042 (2006.01)	E 0 3 C 1/042 E	
	E 0 3 C 1/042 F	
	A 4 7 K 1/00 U	
審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 10 頁)		

(21) 出願番号 特願2008-227342 (P2008-227342)
 (22) 出願日 平成20年9月4日 (2008.9.4)

(71) 出願人 000000479
 株式会社 I N A X
 愛知県常滑市鯉江本町5丁目1番地
 (74) 代理人 100086520
 弁理士 清水 義久
 (72) 発明者 村嶋 美香
 愛知県常滑市鯉江本町5丁目1番地 株式
 会社 I N A X 内
 (72) 発明者 庄司 隆之
 愛知県常滑市鯉江本町5丁目1番地 株式
 会社 I N A X 内
 (72) 発明者 八木 真一
 愛知県常滑市鯉江本町5丁目1番地 株式
 会社 I N A X 内

最終頁に続く

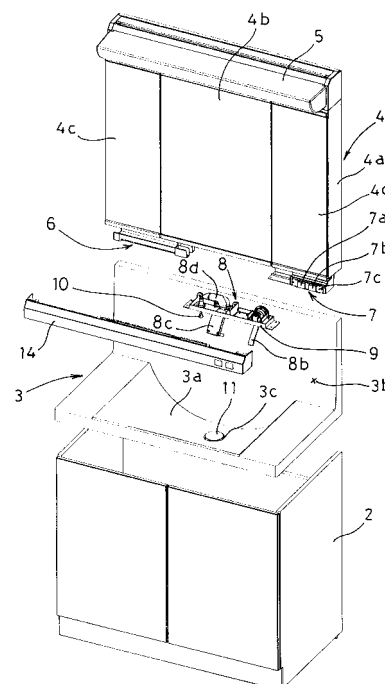
(54) 【発明の名称】洗面化粧台

(57) 【要約】

【課題】すっきりとした設置状態が得られ、しかもミラーキャビネットを外さなくても水栓のみを取り換え可能な洗面化粧台を提供する。

【解決手段】洗面ボウル3のバックガード部3bの上端側中央部前面に、吐水口8cまたはハンドル8bを含む水栓装置8をベースプレート9を介在させて着脱可能に取り付けるとともに、ミラーキャビネット4の下端から垂設されたラック部6またはスイッチコンセント部7を、ベースプレート9と下端を揃えて水栓装置8の左右側に配置し、水栓装置8とラック部6とスイッチコンセント部7を、横方向に延びる1枚のスイッチパネル14で覆蓋する。

【選択図】図3



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

洗面ボウルのバックガード部の上端側中央部前面に、吐水口またはハンドルを含む水栓装置をベースプレートを経在させて着脱可能に取り付けるとともに、

ミラーキャビネットの下端から垂設されたラック部またはスイッチコンセント部を、前記ベースプレートと下端を揃えて前記水栓装置の左右側に配置した

ことを特徴とする洗面化粧台。

【請求項 2】

前記水栓装置とラック部とスイッチコンセント部を、横方向に延びる着脱可能な 1 枚のスイッチパネルで覆蓋した

ことを特徴とする請求項 1 に記載の洗面化粧台。

【請求項 3】

前記水栓装置の吐水口に繋がる引き出し可能なホース部を、前記洗面ボウルのバックガード部の裏側に収納した

ことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の洗面化粧台。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、すっきりとした外観を呈する洗面化粧台に関するものである。

【背景技術】**【0002】**

従来、この種の洗面化粧台として、例えば特許文献 1 に開示されているようなものが存在する。

この特許文献 1 の洗面化粧台では、下部キャビネットを部屋の壁に沿って配置し、下部キャビネットに洗面ボウルを取り付け、次いで、水栓装置ボックスを洗面ボウルの後周壁の上面の上に載せて、水栓装置ボックスを壁にネジで固定し、次いで、ミラーキャビネットの左脚部および右脚部をそれぞれ、洗面ボウルの後左壁および後右壁の上面の上に配置し、ミラーキャビネットを壁に固定し、次いで、前面パネルを水栓装置ボックスに取り付けて設置するものとしている。

【特許文献 1】特開 2008-125634 号公報**【発明の開示】****【発明が解決しようとする課題】****【0003】**

上記特許文献 1 に開示されている洗面化粧台では、洗面ボウルの後周壁の上面とミラーキャビネットの下面との間に水栓装置ボックスが配置されて、水栓装置ボックスは壁にネジで固定されるものであり、水栓装置ボックスは外しにくく、水栓のみを交換したい場合でも、洗面化粧台全体の交換となってしまうという問題点があった。

しかも、水栓装置ボックスの上面と下面に当接するミラーキャビネットの下端および洗面ボウルの後周面の上面間にそれぞれシールを施す必要があり、設置に手間がかかるという問題点があった。

【課題を解決するための手段】**【0004】**

本発明は、極めてすっきりとした外観を呈して設置でき、しかも水栓装置のみの交換が容易となる洗面化粧台の提供を目的とし、この目的の少なくとも一部を達成するために以下の手段を採った。

本発明の洗面化粧台は、洗面ボウルのバックガード部の上端側中央部前面に、吐水口またはハンドルを含む水栓装置をベースプレートを経在させて着脱可能に取り付けるとともに、ミラーキャビネットの下端から垂設されたラック部またはスイッチコンセント部を、前記ベースプレートと下端を揃えて前記水栓装置の左右側に配置したことを要旨とする。

【発明の効果】

10

20

30

40

50

【0005】

本発明の洗面化粧台では、洗面ボウルのバックガード部の上端側中央部前面に水栓装置をベースプレートを経在させて着脱可能に取り付けるものであり、ミラーキャビネットを外さなくても、ベースプレートとともに水栓装置を外して、水栓装置の取り換えを容易に行うことができるものとなる。

また、止水箇所は、ミラーキャビネットの下端と洗面ボウルのバックガード部の上端との間だけで良く、設置施工も容易なものとなる。

【0006】

また、本発明の洗面化粧台において、前記水栓装置とラック部とスイッチコンセント部を、横方向に延びる着脱可能な1枚のスイッチパネルで覆蓋した構造とすることもできる。

10

こうすれば、1枚のスイッチパネルで水栓装置とラック部とスイッチコンセント部を覆蓋できて、すっきりとしたシンプルな外観を呈する洗面化粧台を得ることができる。

【0007】

また、本発明の洗面化粧台において、前記水栓装置の吐水口に繋がる引き出し可能なホース部を、前記洗面ボウルのバックガード部の裏側に収納した構成とすることもできる。

こうすれば、水栓装置の内部にホース部を収納させるスペースを設ける必要がなく、水栓装置全体の高さ寸法を小さくでき、スイッチパネルの高さ寸法も小さく設定できるため、ミラーキャビネットのミラーの下端位置を低く設定することができるものとなる。

【発明を実施するための最良の形態】

20

【0008】

次に、本発明を実施するための最良の形態を実施例を用いて説明する。

図1は、洗面化粧台の設置状態の斜視構成図であり、図2は、設置状態の側面構成図である。また図3は、洗面化粧台の分解斜視図であり、図4は、分解状態の正面構成図であり、図5は、分解状態の側面構成図である。

【0009】

洗面化粧台1は、下部キャビネット2の上面に洗面ボウル3が載置されており、この洗面ボウル3のバックガード部3b上に、ミラーキャビネット4が設置されて構成されている。

洗面ボウル3は、ボウル部3aの底側中央部に、排水栓11を備えた排水孔3cが設けられ、ボウル部3aの後面に上方へ立ち上げてバックガード部3bが一体形成されたものである。この洗面ボウル3のバックガード部3bの上端側中央部前面に、ベースプレート9を経在させて着脱可能に水栓装置8が取り付けられる。

30

【0010】

なお、ミラーキャビネット4の収納部4aの前面中央部にはメインミラー4bが設けられており、このメインミラー4bの左右側にそれぞれサイドミラー4c、4cが設けられている。また、ミラーキャビネット4の上端側には、横方向に延びる照明ランプ5が設けられている。

また、ミラーキャビネット4の下端の左右側には、下方へ向かって垂下状にラック部（システムラック）6とスイッチコンセント部7が設けられている。

40

ミラーキャビネット4の下端の左側に垂設されているラック部6は、時計、カップホルダー、ウェットパレット、網棚等を引っ掛けて使用できるシステムラックで構成されている。また、ミラーキャビネット4の下端の図示右側に垂設されているスイッチコンセント部7の前面には、図示左側から右側に向かって照明スイッチ7a、曇り止めスイッチ7b、コンセント7cが設けられている。

【0011】

洗面化粧台1は現場において、下部キャビネット2上に洗面ボウル3を載置し、この洗面ボウル3に対し、上方側からミラーキャビネット4を下降させて、バックガード部3bの上端とミラーキャビネット4の下端を当接させて止水処理することで、バックガード部3b上にミラーキャビネット4が連結される。

50

この状態では、洗面ボウル 3 のバックガード部 3 b に取り付けられた水栓装置 8 の左側にラック部 6 が配置され、水栓装置 8 の図示右側にはスイッチコンセント部 7 が配置され、水栓装置 8 のベースプレート 9 の下端とラック部 6 およびスイッチコンセント部 7 の下端が面一状に揃うように構成されている。

【0012】

このように、ラック部 6 と水栓装置 8 とスイッチコンセント部 7 が横一列状に下端を揃えて、すっきりとした状態で配置され、このラック部 6、水栓装置 8、スイッチコンセント部 7 の前面に、横方向に延びる 1 枚状のスイッチパネル 1 4 が着脱可能に嵌め込まれて、スイッチパネル 1 4 により、ラック部 6、水栓装置 8、スイッチコンセント部 7 がすっきりとした外観を呈して図 1 のように隠蔽されるものである。

10

【0013】

なお、水栓装置 8 が取り付けられる洗面ボウル 3 のバックガード部 3 b には、図 7 に示すように、上端側に横長状のホースガイド通し孔 3 d が貫通形成されており、このホースガイド通し孔 3 d の左右側にそれぞれビス孔 3 e、3 e が貫通形成されている。また、右側のビス孔 3 e の図示右側には、水栓取付孔 3 f が貫通形成されている。

【0014】

この水栓取付孔 3 f には、図 8 に示すように、ハンドル 8 b を備えた水栓本体 8 a が取り付けられる。この取付状態は図 9 の拡大側面図で示す。

水栓本体 8 a の前部を水栓取付孔 3 f の裏側から挿通させて、バックガード部 3 b の表側から袋ナット 1 2 を締め付けて、強固に水栓本体 8 a を水栓取付孔 3 f にぐらつくことなく固定することができ、固定状態では、バックガード部 3 b の前面には垂下状にハンドル 8 b が露出される。

20

【0015】

次に、図 10 に示すように、吐水口 8 c と、吐水口 8 c に繋がるホースガイド 8 d 内に通されたホース部 8 e を、ベースプレート 9 とともに、ビス孔 3 e、3 e 内に前面側からビス 1 3 を締め付けて取り付ける。

【0016】

このベースプレート 9 は、図 11 に概略断面拡大図で示すように、水平な受け板部 9 a の前端に立ち上げ状に前板部 9 b が形成され、受け板部 9 a の後端側には立ち上げて立上片 9 c が形成され、立上片 9 c の上端側に、ビス孔 3 e、3 e と整合する位置にビス孔 9 d、9 d が形成されたものである。

30

このベースプレート 9 の受け板部 9 a から、吐水口 8 c が下向きに設けられ、受け板部 9 a 上にホースガイド部 8 d が配置されるものであり、バックガード部 3 b に形成されているホースガイド通し孔 3 d 内に前面側からホース部 8 e およびホースガイド部 8 d を裏側へ通して、ベースプレート 9 の左右のビス孔 9 d、9 d 内に前面側からビス 1 3、1 3 を通し、ビス 1 3 をそれぞれバックガード部 3 b のビス孔 3 e に締め付けて、ビス 1 3、1 3 を介してバックガード部 3 b の前面にベースプレート 9 の立上片 9 c を固定する。

このようにして、ベースプレート 9 を介在させて吐水口 8 c、ホースガイド 8 d 等を含む水栓装置 8 を、洗面ボウル 3 のバックガード部 3 b に着脱可能に取り付けることができる。このベースプレート 9 が取り付けられた状態では、ベースプレート 9 の右端側から前記ハンドル 8 b が垂下状に配置される。

40

【0017】

なお、ホースガイド 8 d 内に収納されているホース部 8 e は、洗面ボウルのバックガード部 3 b の裏側に収納され、さらにホース部 8 e は下部キャビネット 2 内に垂れ下げられて、下部キャビネット 2 内に設置されている導管部 8 f に接続されるものであり、導管部 8 f は水栓本体 8 a に接続されて、水栓本体 8 a に湯水を供給するものである。

このようにホース部 8 e はバックガード部 3 b の裏側に隠蔽状態で収納され、必要に応じ、吐水口 8 c を下方側へ引き出すと、このホース部 8 e が徐々にバックガード部 3 b の前面側に引き出されるように構成されている。

【0018】

50

このように、ベースプレート 9 を介して水栓装置 8 を着脱可能に洗面ボウル 3 のバックガード部 3 b の中央部前面に取り付けておき、この洗面ボウル 3 のバックガード部 3 b に対し、上方側からミラーキャビネット 4 を下方へ移動させて、ミラーキャビネット 4 の下端をバックガード部 3 b の上端に当接させて、このバックガード部 3 b の上端とミラーキャビネット 4 の下端間をシールして止水することができる。

この図 2 の状態では、バックガード部 3 b の上端はラック部 6 およびスイッチコンセント部 7 の裏側の挿入空間 S 内に嵌まり込むこととなり、洗面ボウル 3 のバックガード部 3 b の上端の左側前面にはラック部 6 が配置され、バックガード部 3 b の上端の右側前面にはスイッチコンセント部 7 が配置されることとなり、バックガード部 3 b の上端側中央部前面に取り付けられている水栓装置 8 の左側にはラック部 6 が、右側にはスイッチコンセント部 7 が横一列状に下端が揃った状態で配置されることとなる。

10

【0019】

この状態は図 6 に示し、この横一列に配置されたラック部 6、水栓装置 8、スイッチコンセント部 7 に対し、前面から着脱可能にスイッチパネル 14 が取り付けられる。

スイッチパネル 14 の取付状態では、図 1 に示すように、スイッチパネル 14 の下端側から水栓装置のハンドル 8 b と吐水口 8 c が露出し、また、吐水口 8 c の左側には垂下状にポップアップ操作部 10 が露出する。

このポップアップ操作部 10 もベースプレート 9 に取り付けられており、ポップアップ操作部 10 には図示しないリリースが連結されて、リリースはバックガード部 3 b の裏側を通り、洗面ボウル 3 の排水口 3 c に設けられている排水栓 11 に接続され、ポップアップ操作部 10 を操作することで排水栓 11 を上下方向に移動させて、排水口 3 c を開閉操作することができる。

20

【0020】

このように本例の洗面化粧台では、洗面ボウル 3 のバックガード部 3 b の上端側中央部前面に、吐水口 8 c、ハンドル 8 b を含む水栓装置 8 をベースプレート 9 を介在させて着脱可能に取り付け、ミラーキャビネット 4 の下端から垂設されたラック部 6 とスイッチコンセント部 7 を、ベースプレート 9 と下端を揃えて水栓装置 8 の左右側に配置したものであるため、ミラーキャビネット 4 を外さなくても、ベースプレート 9 とともに水栓装置 8 を取り外すことができ、水栓装置 8 のみを取り換えて交換することができるものとなる。

【0021】

また、設置時の止水箇所は、ミラーキャビネット 4 の下端と洗面ボウル 3 のバックガード部 3 b の上端との間だけであり、止水処理も容易かつ確実にできるものである。

30

また、ラック部 6、水栓装置 8、スイッチコンセント部 7 は、1 枚のスイッチパネル 14 を被せることで隠蔽され、設置状態の外観形状が極めてすっきりとしたシンプルなものとなり、洗面化粧台の意匠性が向上する。

また、水栓装置のホース部 8 e は、洗面ボウル 3 のバックガード部 3 b の裏側に収納させることができるため、このホース部 8 e を収納させるために水栓装置 8 の高さ寸法を大きく設定する必要がなく、水栓装置 8 の高さ寸法は極めて小さく設定することができ、そのため、ミラーキャビネット 4 のメインミラー 4 b およびサイドミラー 4 c、4 c の下端位置を低い位置に設定することができるものとなる。

40

【図面の簡単な説明】

【0022】

【図 1】洗面化粧台の設置状態の斜視構成図である。

【図 2】洗面化粧台の設置状態の側面構成図である。

【図 3】洗面化粧台の分解斜視構成図である。

【図 4】洗面化粧台の分解正面構成図である。

【図 5】洗面化粧台の分解側面構成図である。

【図 6】洗面ボウルとミラーキャビネットとの接続状態の斜視構成図である。

【図 7】洗面ボウルの斜視構成図である。

【図 8】洗面ボウルのバックガード部に水栓本体を取り付けた状態の斜視図である。

50

【図 9】水栓本体およびハンドルのバックガード部への取付状態の拡大側面図である。

【図 10】さらにベースプレートを介在させて吐水口を含む水栓装置を洗面ボウルのバックガード部に取り付けた状態の斜視構成図である。

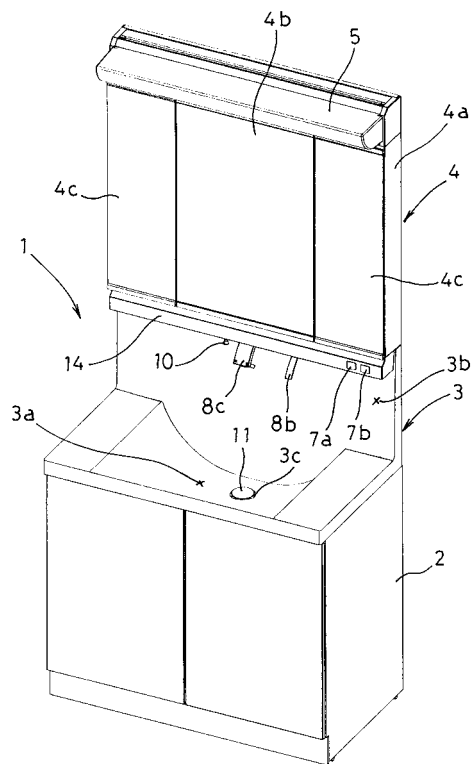
【図 11】ベースプレートのバックガード部への取付状態の拡大概略構成図である。

【符号の説明】

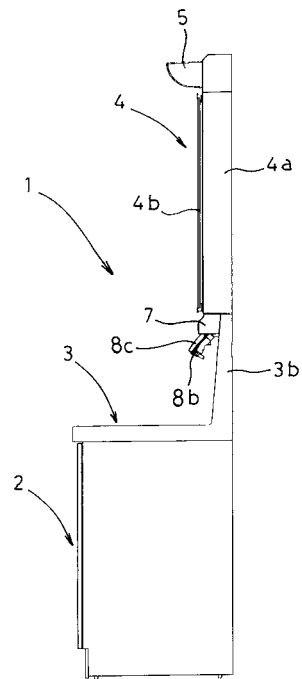
【0023】

- | | | |
|-----|---------------|----|
| 1 | 洗面化粧台 | |
| 2 | 下部キャビネット | |
| 3 | 洗面ボウル | |
| 3 a | ボウル部 | 10 |
| 3 b | バックガード部 | |
| 3 c | 排水孔 | |
| 3 d | ホースガイド通し孔 | |
| 3 e | ビス孔 | |
| 3 f | 水栓取付孔 | |
| 4 | ミラーキャビネット | |
| 4 a | 収納部 | |
| 4 b | メインミラー | |
| 4 c | サイドミラー | |
| 5 | 照明ランプ | 20 |
| 6 | ラック部（システムラック） | |
| 7 | スイッチコンセント部 | |
| 8 | 水栓装置 | |
| 8 a | 水栓本体 | |
| 8 b | ハンドル | |
| 8 c | 吐水口 | |
| 8 d | ホースガイド | |
| 8 e | ホース部 | |
| 9 | ベースプレート | |
| 9 a | 受け板部 | 30 |
| 9 c | 立上片 | |
| 9 d | ビス孔 | |
| 10 | ポップアップ操作部 | |
| 11 | 排水栓 | |
| 12 | 袋ナット | |
| 13 | ビス | |
| 14 | スイッチパネル | |

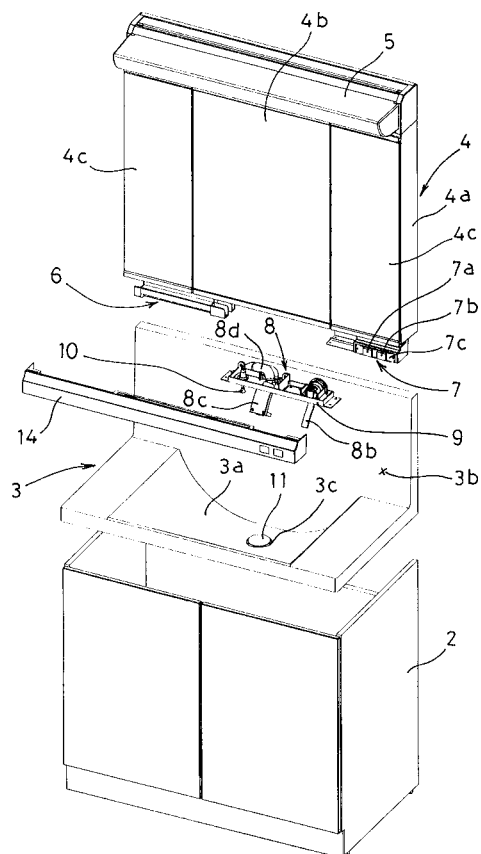
【図 1】



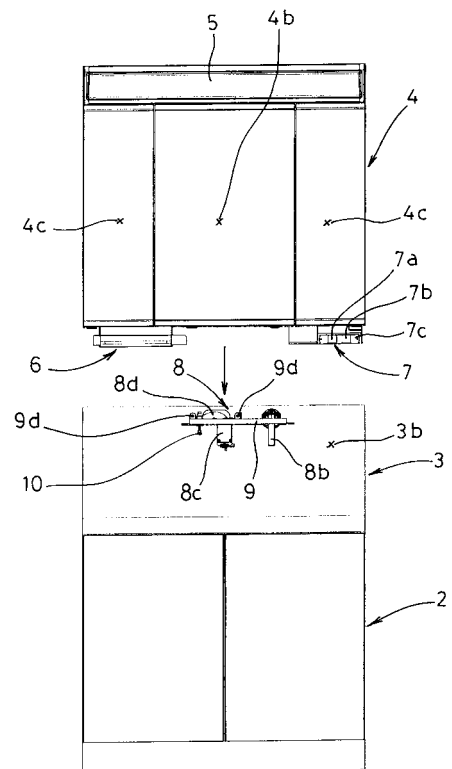
【図 2】



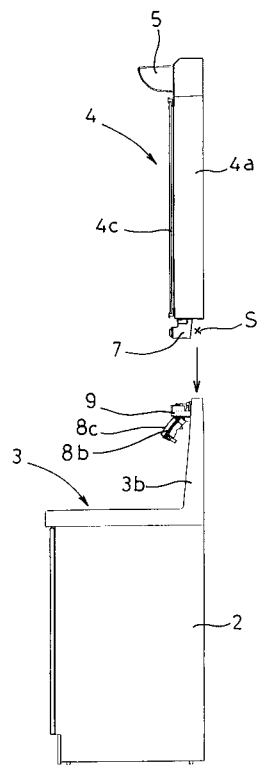
【図 3】



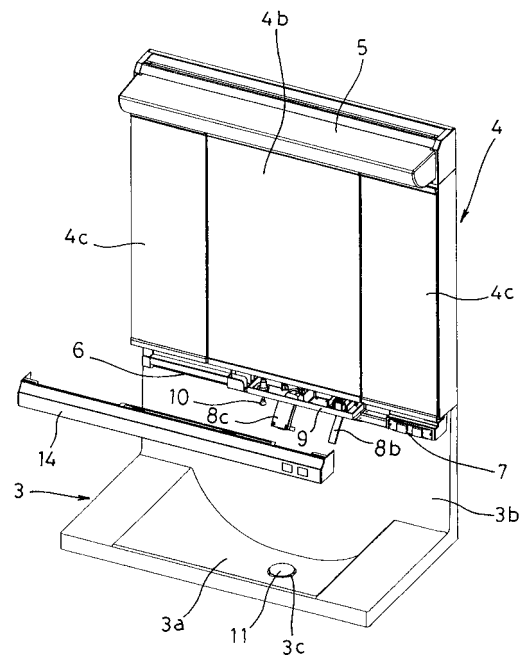
【図 4】



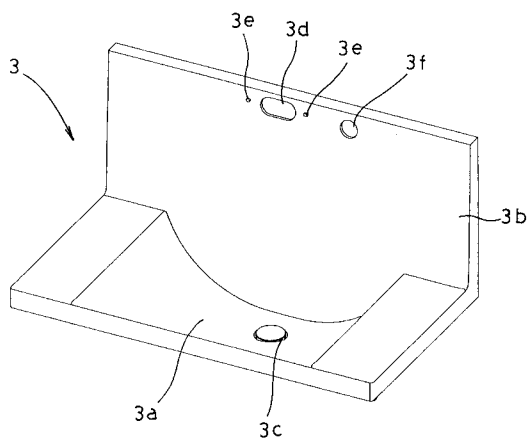
【図 5】



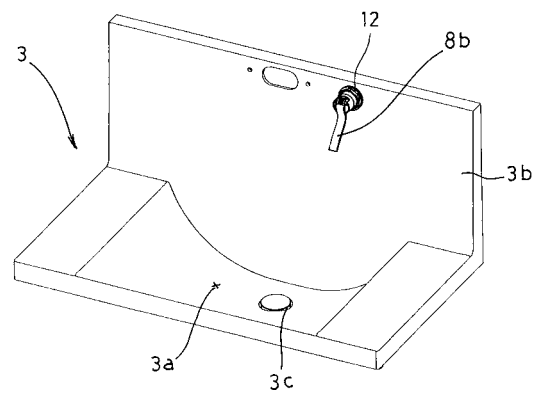
【図 6】



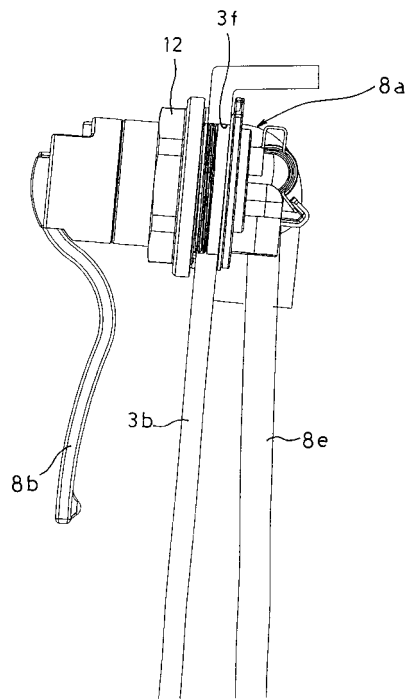
【図 7】



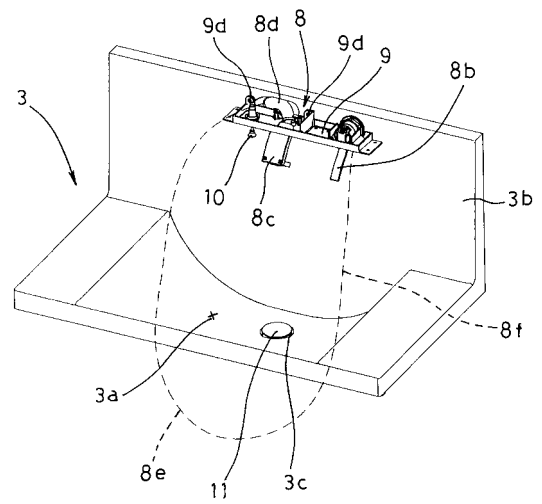
【図 8】



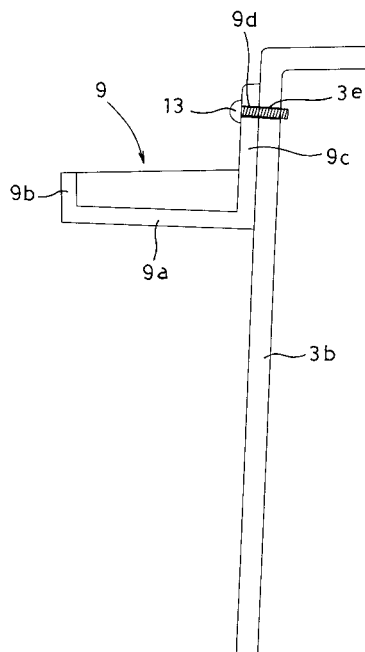
【図 9】



【図 10】



【図 11】



フロントページの続き

(72)発明者 小林 裕志

愛知県常滑市鯉江本町5丁目1番地 株式会社I N A X内

Fターム(参考) 2D060 BA03 BE09 BF01